

中期経営プラン【令和元年度～令和5年度】

【令和4年 3月15日改定】

青森県道路公社

中期経営プラン策定の趣旨

当公社の管理する有料道路3路線は利用実績が当初計画を下回り、更なる債務の減少に務めるため、みちのく有料道路及び青森空港有料道路の料金徴収期間を延長し事業を継続して参りました。

先般、第二みちのく有料道路についても有識者による提言を踏まえ、国への料金徴収期間の延長申請を行い、更に10年間継続する事となりました。

なお、みちのく有料道路及び第二みちのく有料道路については料金徴収の形態をETC化する事により、昨今の新型コロナウイルス感染の防止対策にも努め、利用者が安心して通行できるように設備の改修を進めているところであります。

また、公社が管理する3有料道路は、供用開始からの経年劣化により施設の老朽化が進み、更に平成26年7月からの道路法の改正により、トンネルや橋梁等の道路構造物の定期点検が義務化され、今後、施設の大規模な修繕・更新が考えられ、債務の償還に努めながらも利用者の安全確保のため、適切な維持修繕を実施していかなければならない状況にあります。

当公社はこれまでの中期プランに掲げた債務削減目標を着実に達成しており、前期のプラン（平成26年度～平成30年度）において掲げた約43億の削減目標も達成してきました。

計画の変更について

現行プランでは、令和4年3月29日で第二みちのく有料道路の料金徴収期間が満了するとしておりました料金徴収期間を、10年間延長する変更許可を受けたことに伴い、収支計画の見直しを行っております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響による交通量及び料金収入の減少を考慮して、適切な維持管理を行いながら事業を継続するため、各年度の経営への影響も踏まえながら計画を見直しております。

更に、みちのく有料道路及び第二みちのく有料道路においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にもつながる料金徴収形態としてETC設備の設置を進めており、青森県からの補助金を活用しながら設備設置にかかる費用の計上を追加しております。

I 青森県道路公社の現状

1 管理する有料道路の概要

① みちのく有料道路（料金徴収期間を19年延長）

区 間：上北郡七戸町字後平～青森市大字滝沢字下川原
延 長：21.5km
事 業 費：210億円
料金徴収期間：昭和55年11月13日～令和11年11月12日（49年間）

② 青森空港有料道路（料金徴収期間を10年延長）

区 間：青森市大字大谷字山ノ内～青森市大字大谷字小谷
延 長：1.7km
事 業 費：61億円
料金徴収期間：昭和62年7月19日～令和9年7月18日（40年間）

③ 第二みちのく有料道路（料金徴収期間を10年延長）

区 間：上北郡おいらせ町字高田～上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢
延 長：9.7km
事 業 費：56億円
料金徴収期間：平成4年3月30日～令和14年3月29日（40年間）

2 路線ごとの交通量及び料金収入

① 交通量 (台)

有料道路名	みちのく	青森空港	第二みちのく
計 画	74,718,310	74,807,419	68,007,418
実 績	67,839,752	55,852,091	31,733,239
対 計 画 比	90.79%	74.66%	46.66%

(注) 供用開始から令和2年度までの累計台数

② 料金収入 (千円)

有料道路名	みちのく	青森空港	第二みちのく
計 画	58,547,367	15,671,967	13,483,485
実 績	52,590,060	10,273,447	6,159,007
対 計 画 比	89.82%	65.55%	45.68%

(注) 供用開始から令和2年度までの累計金額

II 収支計画

1 経営環境の展望

① みちのく有料道路

上北自動車道の延伸により、交通量は緩やかな伸びを続けておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、交通量及び料金収入に大きな影響を与えております。

一方、令和4年度に予定されている上北自動車道の全線供用に伴う、みちのく有料道路との接続や、下北縦貫道路への新規着手による将来的な接続により、利用交通量の増加が期待されます。

② 青森空港有料道路

平成29年7月から実施している往復割引による社会実験は、交通量及び料金収入ともに一定の効果を上げており、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響も踏まえながら、社会実験の効果を検証していきます。

③ 第二みちのく有料道路

みちのく有料道路同様、上北自動車道の延伸により交通量は緩やかな伸びが続けておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、交通量及び料金収入に影響を与えております。

令和4年度に予定されている上北自動車道の全線供用により、みちのく有料道路から上北自動車道、第二みちのく有料道路の一体的利用が可能となることから、利用交通量の増加が期待されます。

2 各路線の交通量及び収入の推計

令和元年度から令和2年度は実績、令和3年度から令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策等による交通量の大幅な減少を考慮し、令和元年度の実績交通量に対する直近交通量の伸び率等を乗じて算出した。

① みちのく有料道路

(単位 交通量:台、料金収入:千円)

年度	車種別交通量及び料金収入(年間)										回数券減収割合による収入見込み(R2実績) (A×0.938)
	軽自動車		普通車		大型Ⅰ		大型Ⅱ		合計		
	650円/台		860円/台		1,320円/台		3,080円/台				
	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入(A)	
令和元	340,286	219,484	1,508,833	1,290,052	103,097	135,057	8,118	24,760	1,960,334	1,669,353	1,596,944
令和2	266,511	173,232	1,220,073	1,049,263	103,694	136,876	3,766	11,599	1,594,044	1,370,970	1,286,292
令和3	281,660	183,079	1,248,888	1,074,044	85,334	112,641	6,719	20,695	1,622,601	1,390,459	1,306,215
令和4	281,553	183,009	1,248,408	1,073,631	85,302	112,599	6,717	20,688	1,621,980	1,389,927	1,303,752
令和5	306,257	199,067	1,357,950	1,167,837	92,787	122,479	7,306	22,503	1,764,301	1,511,886	1,418,149

② 青森空港有料道路

(単位 交通量:台、料金収入:千円)

年度	車種別交通量及び料金収入(年間)										回数券減収割合による収入見込み(R2実績) (A×0.797)
	軽自動車		普通車		大型Ⅰ		大型Ⅱ		合計		
	150円/台		220円/台		340円/台		760円/台				
	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入(A)	
令和元	677,643	101,646	1,289,711	277,288	53,025	17,763	5,516	4,165	2,025,895	400,862	332,525
令和2	585,915	87,887	1,008,954	221,970	50,747	17,254	1,991	1,513	1,647,607	328,624	261,935
令和3	602,898	90,435	1,147,454	252,440	47,175	16,040	4,908	3,730	1,802,435	362,645	288,210
令和4	581,892	87,284	1,107,475	243,645	45,533	15,481	4,737	3,600	1,739,637	350,010	278,958
令和5	609,879	91,482	1,160,740	255,363	47,723	16,226	4,964	3,773	1,823,306	366,844	292,375

③ 第二みちのく有料道路

(単位 交通量:台、料金収入:千円)

年度	車種別交通量及び料金収入(年間)										回数券減収割合による収入見込み(R2実績) (A×0.980)
	軽自動車		普通車		大型Ⅰ		大型Ⅱ		合計		
	150円/台		220円/台		330円/台		740円/台				
	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入	交通量	料金収入(A)	
令和元	366,216	54,932	1,279,046	274,541	41,528	13,518	4,838	3,553	1,691,628	346,544	344,055
令和2	315,151	47,273	1,093,901	240,658	47,148	15,559	3,729	2,759	1,459,929	306,249	300,200
令和3	332,956	49,943	1,162,881	255,834	37,755	12,459	4,399	3,255	1,537,991	321,491	315,715
令和4	338,823	50,823	1,183,373	260,342	38,422	12,679	4,476	3,312	1,565,094	327,156	320,694
令和5	457,272	68,591	1,585,633	348,839	67,744	22,356	6,351	4,700	2,117,000	444,486	435,707

※ 令和5年度は変更許可申請時の数値を用いた。

Ⅲ 経営状況（長期債務）

当社が管理している有料道路は、道路整備特別措置法の規定に基づき、県及び県議会からの同意を得た上で、国の許可を受けて建設した道路です。その建設のための資金は、国や県、市中銀行等からの借り入れで賄っており、利用者の通行料金で債務を償還することになっています。

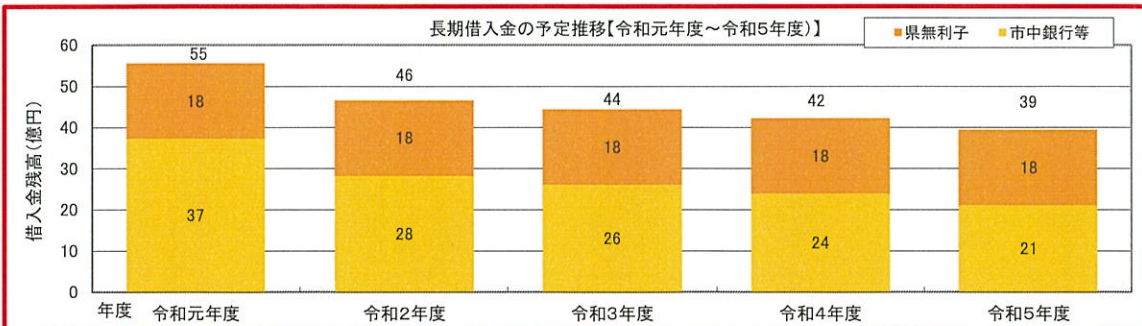
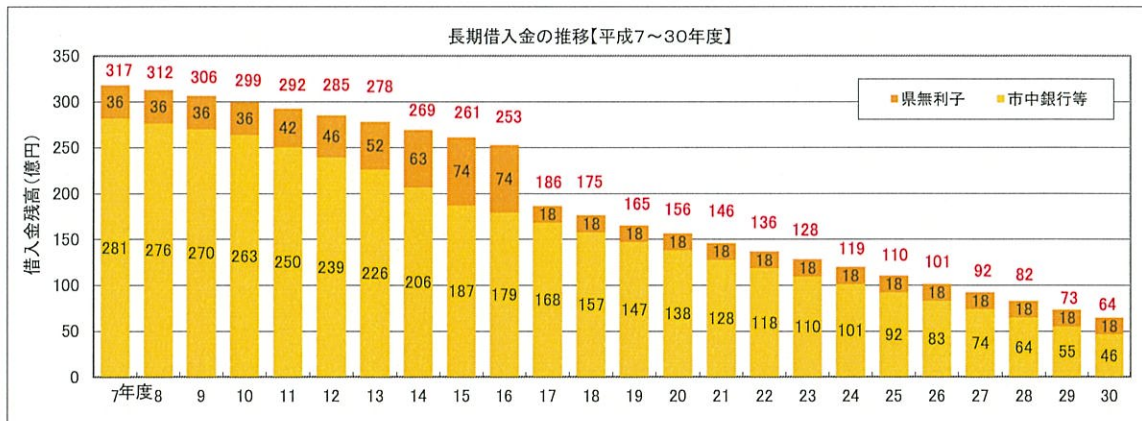
しかしながら、昭和55年度の営業開始以来、各路線とも利用実績が計画を下回り、平成7年度までは、新規道路建設のための借入増に加え、管理経費が料金収入を上回る状況が続き、長期債務が年々増加し、平成6年度末で約319億円となっていました。

このような状況を改善するため、県から無利子貸付の支援を受けるとともに、管理経費や人件費の削減、回数券の販売促進等の収支改善策に積極的に取り組み、その結果、平成7年度から単年度における黒字に転じ、平成30年度末の長期債務は約64億円まで減少しました。

その間の主な取り組みとしては、土地開発公社との管理部門の統合、県派遣職員の引き揚げ、退職者不補充等の人件費の削減、料金徴収業務や道路維持管理業務の発注方法の見直し、金融機関からの借入利率に対する入札制度導入等の管理経費削減のほか、青森中央大橋下を活用した有料駐車場を開設し、新たな収入確保策を実施してきました。

また、カード式回数券の発行や県からの補助金を活用した橋梁耐震補強工事のほか、みちのくトンネルの天井板撤去など、有料道路の利便性及び安全性向上のための適切な維持管理に努めてきました。

なお、みちのく有料道路においては令和2年度において市中銀行からの有利子債務を返済し終わり、青森空港有料道路については、令和5年度末における債務残高が約3億となり、料金徴収期間満了までに完済する見込みとなっております。



各有料道路の事業費及び資産額と長期債務【令和5年度末】

(単位：千円)

項目	みちのく	青森空港	第二みちのく	合計
事業費	21,000,000	6,100,000	5,600,000	32,700,000
道路資産額	20,801,781	5,967,703	5,514,082	32,283,566
長期債務額	1,637,793	303,161	1,874,697	3,815,651

※令和5年度末の長期借入金は、道路資産額の約13%となっている。

IV 維持管理について

当会社では、利用者の安全・安心を確保するため有料道路の適切な維持管理を行ってきたところではあります。

特にみちのく有料道路については、冬期間の安全対策のほか、トンネル補修工事や防災設備の更新工事等を実施し、道路の安全性向上に努めてきました。

令和元年度以降においても利用者の安全を第一に、適切な維持管理の徹底と老朽化設備の更新等を行いながら、安心・安全で快適な道路環境の提供に努めて参ります。

なお、みちのく有料道路において実施予定の補修工事は、以下のとおりです。

また、他の2路線についても補修工事を視野に入れた道路ストック点検や定期点検を実施することとしています。

【みちのく有料道路補修工事】

年度	項目	主な工事内容
令和元年度	トンネル防災設備更新	トンネル消火設備更新(送水管)
	トンネル補修	漏水対策等
	橋梁補修	定期点検で対策が必要となった箇所の補修
令和2年度	トンネル防災設備更新	トンネル消火設備更新(送水管、自動弁、消火栓)
	橋梁補修	定期点検で対策が必要となった箇所の補修
令和3年度	トンネル防災設備更新	トンネル消火設備更新(送水管、自動弁、消火栓)
	橋梁補修	定期点検で対策が必要となった箇所の補修
令和4年度	トンネル防災設備更新	トンネル消火設備更新(送水管、自動弁、消火栓)
	橋梁補修	定期点検で対策が必要となった箇所の補修
令和5年度	トンネル電気設備更新	トンネル無停電電源装置更新
	橋梁補修	定期点検で対策が必要となった箇所の補修